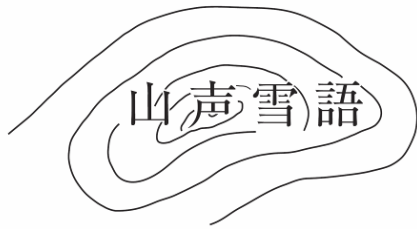


京交山岳部報

例会予告（2020年12月～2021年1月）

例会・行先	日程・集合	担 当 者	コ ー ス
第2829回 梅池スキー	2月1日（月） ～3日（水） 集合 参加者で相談	吉田 武	京都東IC～安曇野IC～R147 ～梅池スキー場
備考 梅池高原ホテル白馬ベルクハウスに滞在。 費用 35,000 円			
12月の集会 日 時 12月11日（金）18:30～ 場 所 holly's café（ホリーズカフェ） 四条室町西北		1月の集会 日 時 1月8日（金）18:30～ 場 所 holly's café（ホリーズカフェ） 四条室町西北	



紅葉

岡田 茂久

「林間煖酒焼紅葉 石上題詩掃緑苔」白楽天の詩の一節である。小生、酒はなめる程度で飲めるとは言えず、直ぐに顔が紅葉するが詩の情景は目に浮かぶ。

我が家の前には猫の額ほどの前庭がある。そこにはいろいろのものが植わっている。不思議にも



植えた覚えがないのに大きく育った百日紅（サルスベリ）。百日紅の白い花（我が家の花は白であるが百日白とは聞かない）が、これでもかと咲き誇るが、道路まで散らばる白い落花の清掃が大変である。

11月になり百日紅の花は丸い実となり紅葉を始める頃、銀木犀（ギンモクセイ）がほのかに匂いだす。暗夜の銀木犀のほのかな香りはなんとも艶めかしく優雅で、何かやるせなく秋の訪れを身近に感じるのである。銀木犀というと金木犀と違うのといわれるが、もともとは銀木犀があり金木犀の方が変種らしい。香りは金木犀と比べ控えめに匂うのが奥ゆかしい。花言葉は金木犀が「謙虚」「謙遜」「陶醉」。銀木犀が「初恋」「高潔」「あなたの気を引く」である。金木犀は「謙虚」「謙遜」の花言葉のわりには華やかな香りである。



もう十数年前であったか付知の山に登った折のこと、林道の峠で薄く煙を上げる御岳を見ながら歩いていると、林道を横断する側溝の中に5cm程で、けなげに2・3枚の紅葉した葉を付けたヤマモミジの実生を見つけた。放置しておいても流されるだけと大事に持ち帰ったが、それが今では2mほどに成長している。夏の終わりの頃は百日紅の白い落花の掃除と、モミジの水やりが日課となる。ところがこのヤマモミジ、毎年紅葉する前に葉の縁端が枯れるのである。モミジは水分が大事と聞いて、いくら水やりを十分にやってやっても、夏の暑い日差しを防ぐのに紗布をかけてみたが駄目である。水をやりすぎると紅葉が遅くなるとも聞くが、それでもいつか全体に紅葉し、枯葉も目立たなくなるから不思議である。

紅葉の不思議は他にもある。以前から水石にイワヒバと苔を混植した鉢植えがある。いつの間にか苔に紛れこんでいた杉の稚苗が20cmほどに大きくなった。これが紅葉したのである。決して枯れたのではなく紅葉しているのである。おまけに傍の南天の鉢植えも一部が紅葉。

決定的なのは写真を見ていただきたい。「赤い竜のミニチュア」といえるようなものが、モミジの枝にしがみついているではないか。娘は「エイリアンのミニチュア」というが、昆虫の蛹か脱皮殻らしいが、何か調べてみても判らない。これを瑞兆ととるか凶兆ととるか。

長い人間の歴史の中でペスト、疱瘡、スペイン風邪の流行を凌駕するコロナ禍の時代に、生まれ合わせたのも因果であるが、昔と違い比較的長い昭和、平成、令和の三世代を生き延びて八十路。山行きはまだまだ続けられると思うが、年齢が独り歩きし、簡単な山行きでも行動そのものを懸念されると出そびれるが、枯葉になる前の紅葉のうちにと枝にしがみついている。

車の運転も謙虚になり、今年も「落葉神社」の銀杏の落葉の黄金のじゅうたんを踏みに中川へ、四宮の「一燈園」へは、疎水の舟入に映る銀杏の黄色と、イロハモミジの紅色の絶妙のコントラストを楽しもうと出かけた。世のコロナ騒ぎとは何の関わりもなく、黄金の落葉も紅葉も例年の通りの美しさであった。

【第2826回例会】 2020年（令和2年）10月24日（土）

播州 七種山（ナグサ山 △683m）

井戸 澄夫

七種山は『播磨国風土記』に、「奈具佐山 檜が生える。」とある。山体は火砕流堆積物としての流紋岩が主体で、固くて浸食に耐える性質のため、険しい山容と七種48滝といわれる多くの滝を形成した。中でも落差72mの雄滝は見事なものである。当然、御神体として信仰の対象となった。まず仏教であるが、推古天皇5年（597年）に聖徳太子の命を受けた高麗僧惠灌により、山の中腹に滋岡寺（しげおかじ）が創建されたと伝わる。その時には既に滋岡川人（しげおかせんにな）という修行僧が住んでおり、旱魃の時に七つの種を人々に与え飢餓から救ったという。最初の寺号はこの滋岡川人から名付けられたと言われ、山名も七つの種から来ている。天平4年（732年）に焼失するが、聖武天皇の勅命で再建された。その後、空海（弘法大師）が来山して真言宗の寺となり、寺号を金剛城寺と改めた。その後、幾度かの火災で衰退したが、江戸時代初期に明覚上人により復興され寺号を作門寺と改めた。しかし明治初期の廃仏毀釈で寺地は没収され、寺も麓に移された。その後、裁判の結果、寺地は取り戻したが、寺は麓に残り、1928年（昭和3年）に寺号を金剛城寺（こんごうじょうじ）に戻した。今、金剛城寺は、本尊十一面観世音菩薩、新西国三十三箇所第30番札所となっている。今、山中にある旧山門は昔の堂塔伽藍で唯一残る遺構で、元禄14年（1701年）建立である。車で行くとこの旧山門の更に奥に七種神社の鳥居があり、駐車場がある。七種神社は廃仏毀釈までは寺に取り込まれていたのであろうが、今は立派な拝殿を持つ神社で、雄滝（七種の滝）を眺望する場所にある。兵庫県神社庁によれば、この神社の名は七種（しちぐさ）神社で、主祭神は安閑天皇、配祀神は市杵島姫命（いいきしまひめのみこと）とある。もともと鳥居の扁額には「八大龍王 八龍破地大神」とあり、水の神との繋がりを示す。

七種山への登山口はこの神社（標高390m）である。山頂の683m標高点までは、岩場が多く急登である。コースタイムでは40分であるが、小生は杖をつき息を切らせて倍の80分かかった。山頂の手前の岩場からは南面の福崎方面が、山頂からは北面の雪彦山・段ガ峰方面が眺望できる。秋晴れの好天で週末なので登山者も多かった。ガイドブックによれば、七種槍へ縦走するコースもあるが、今の小生では日が暮れてしまうので断念した。

帰路、福崎町の老人保健施設に併設された「福ふく温泉」で汗を流した。少し塩気のある温泉であった。

【参加者】 単独行

【コースタイム】 9:30 七種神社登山口(h-390m)・・・10:50 七種山頂(△683m)11:10・・・
12:00 七種神社



福崎町から七種山を望む



風格ある旧山門



七種神社からの雄滝（七種の滝）



七種山頂にて

【2827回例会】令和2年11月3日～6日

富士山を眺めよう

吉田 武

3日

前日の雨が嘘のように晴わった中を名神高速から中央道，そして岡谷 IC から旧塩尻を通り，高ボッチ高原に続く林道を登って行くが，判りにくい道だが舗装されているので疑わなかった。

高ボッチ高原のパラボナアンテナの広場に車を置いた。アルプス方面は雲がかかっていたので写真の写すのをやめてテント設営にかかる。標高が 1640m 位なので夜は相当冷え込みそう。温かくしてテントに入る。今日は義弘君おすすめの石狩鍋，ビール，ワイン，日本酒，ウイスキーとオンパレードの楽しいひと時である。

日が落ちてくるとますます寒くなってきた。まだ8時半。寝る訳にも行かず寒さが増してきたが，

これ以上は我慢できないくらいの寒さの為に車に逃げ込んだ。エンジンをかけて就寝する。意外と寝られるが、体制が悪いために熟睡はできなかった。

4 日

早朝より諏訪湖と富士山が写せるポジションに移動してカメラに納め、早々に下山した。岡谷 IC から諏訪 IC, そして R20 号を上諏訪の高島城を見学して、また、諏訪 IC から一宮御坂 IC で降りて R137 号を御坂町藤野木から黒岳林道に入ったが、全くの通行止めの為に引き返して、R137 から御坂トンネルを越えて新倉山浅間公園に舵を取った。

浅間公園の五重塔からの富士山のアングルは春の桜のころが良いらしいが、秋もまたいい感じである。次は河口湖町の紅葉台の三角点まで登る。標高 1164.6m の 3 等三角点で点名は「物見處」である。ここにきてやはり富士山はますます大きく感じた。

今日の宿舎は河口湖の八木崎公園の近くにある、外川荘。河口湖近くはほとんどが素泊まりか、朝食だけといった具合で、仕方なくコンビニで食料を買い込んで投宿となる。

5 日

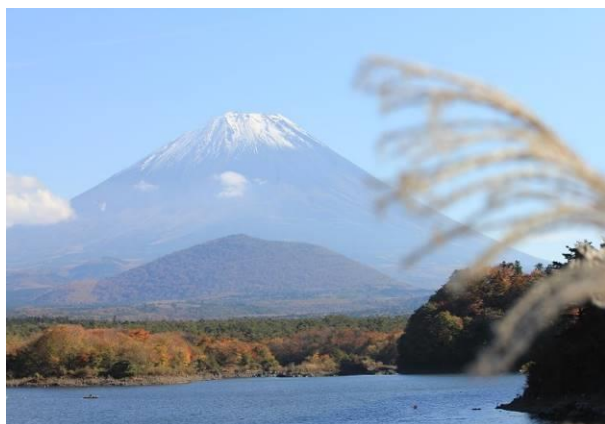
今日は「鳴沢氷穴」と「富岳風穴」を見学して精進湖から本栖湖に走って千円札の裏の富士山撮影場所に行く。多くの人が写真を写している。

今日の宿舎は富士急ハイランドの近くであるが、いくら探しても見つからないので宿に電話しながらのナビ、砂利道を入った所にゲストハウスの様な宿があった。日本語が通じない山荘でいささか面食らった。

6 日

今日は一路京都までのドライブ。東富士五湖道路から須走 IC そして R139 号を走り、御殿場 IC から新東名高速から京都まで帰った。走行距離は 1100km であった。

【参加者】岡本義弘 吉田 武 他 1 名



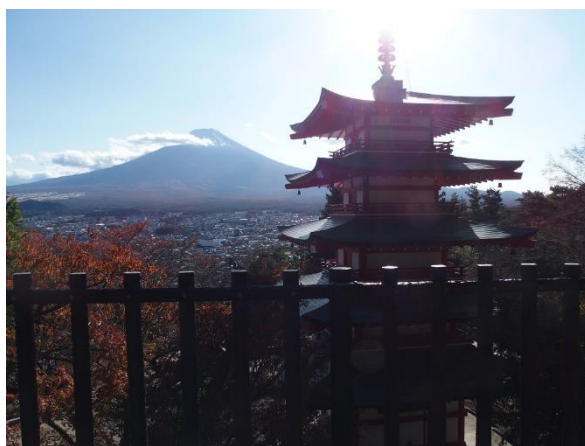
大室山を前に富士



諏訪湖を前に富士



高ボッチ高原



新倉山浅間公園から富士



本栖湖からの富士



紅葉台「点名」物見處 3 等三角点

例会報告 (まとめ)

例会 No.	目的地	天 候	月 日	担当者	参加者	記 事
2826	播州 七種山 (△ 6 8 3 m)	晴れ	令和 2 年 10 月 24 日 (土)	井戸澄夫	単独行	別稿詳報
2827	富士山を眺めよう	晴れ	令和 2 年 11 月 3 日 (火・祝) ～6 日 (木)	吉田 武	岡本義弘 他 1 名	別稿詳報

雑 報

△△△ 2020年10月の集会

日 時 10月9日(金) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズカフェ 烏丸四条西入る)
出席者 吉田, 方山, 岡田, 井戸 4名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行報告, 岳連関係報告

△△△ 2020年11月の集会

日 時 11月13日(金) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズカフェ 烏丸四条西入る)
出席者 方山, 森本, 大槻, 井戸 4名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行報告, 岳連関係報告

△△△ 次号部報は2021年2月, 3月合併号として発行します。

△△△ 2021年1月 新年会及び初登山について

毎年恒例となっています新年会及び初登山については, 新型コロナウイルスの再拡大に伴い中止します。なお2020年12月の納山祭についても中止です。

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い, 部報の発送先, 発送方法に変更がある場合は, 必ず部報発送担当者(松田)まで連絡してください。

※パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方は, パソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 部費の徴収について

山岳部費については2019年度から徴収せず, 山岳部の活動は内部留保金で運営しています。2019年度に既に納入された方には別途返却いたします。

△△△ 総会について

2020年3月18日に職員会館「かもがわ」で行う予定でした2019年度総会は, 新型コロナウイルス対策のため延期しています。今のところ2021年3月18日(木)に開催する予定です。場所は未定ですが, 次号部報(2021年2, 3月号)でお知らせします。

《新入部員募集中》

令和2年12月1日

京都市右京区太秦下刑部町1-8

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>